

群馬大学大学院医学系研究科統合和漢診療学活動報告

教授	小暮 敏明	Toshiaki Kogure
講師	巽 武司	Takeshi Tatsumi
助手	佐藤 浩子	Hiroko Sato
医員（総診）	岸 大次郎	Daijiro Kishi
事務補佐員	設楽美和子	Miwako Shitara

研究概要

和漢診療・漢方治療の臨床研究（難治性疾患：リウマチ性疾患やアレルギー・慢性炎症性疾患への臨床応用とその作用機序の解析）のほか、老年医療の疾病マネジメントやプライマリケア分野での臨床研究を多数遂行中である。また、平成15年4月の本学の大学院・社会環境医療学の設置にともない、その協力講座として、生体情報学、医学哲学・倫理学、情報医療学と連携して研究に取り組んでいる。プロジェクト棟では、科学研究費研究課題等を中心に、臨床・基礎研究を幅広く達成し得るようになってきている。

診療活動

外来は月曜日から金曜日までの週5日間、週に延べ10診を開き診療にあたっている。いわゆるプライマリケアの疾患から特定機能病院での対応が必要となる難治性疾患まで幅広い患者層に対して対応している。おもな特定疾患は、強皮症、全身性エリテマトーデス、悪性関節リウマチ、ベーチェット病、ウエゲナー肉芽腫症、潰瘍性大腸炎、クローン病、パーキンソン氏病などで、当科単独あるいは他科併診で診療を行っている。治療法は、漢方薬煎剤を基本として、適宜、医療用漢方エキス製剤と西洋薬を併用している。

症例カンファレンスは週1回（水曜日）行い、東洋医学的な診断および治療法について検討を行っている。また、総合診療部との合同カンファレンス（週1回：水曜日）では、漢方、西洋にかかわらず最新のトピックスについて議論している。

教育活動

教養教育として1年次に学修原論「かしこく健康に生きる」、学修原論「医学と社会」を行い、医学部専門科目として3年次では、主要症候と病態生理、薬理学、で漢方薬概論と東洋医学の基本的な考え方・診察法を講義している。実習では、医学科1年次の早期体験実習、医学科5年次での臨床実習（ポリクリ）、医学科6年次での卒前臨床実習を担当している。また大学院・社会環境医療学（統合和漢診療学）の大学院生の指導にあたっ

ている。大学院社会環境医療学の研究会（一木会）に参加し研究発表を行っている（本年度2回）。

国際交流としてタイ・チェンマイ大学医学部4年生（2008年1月25～31日）インドネシア・パジャジャラン大学医学部4年生・5名に対して本学での和漢診療学・和漢診療科への取り組み、実際の和漢診療の概略についてレクチャーと実習を行った。また臨床カンファレンス等のFDでは、認定医の資格を1名が取得した。

《FD関連》

群馬大学において：

第1回和漢診療症例検討会 4月18日（金）

第1回和漢診療セミナー 5月16日（金）

第1回医学生のための和漢診療セミナー 6月21日（土）

他大学での特別講義：

弘前大学医学部 東洋医学 膠原病に対する漢方治療 5月29日

信州大学医学部 麻酔・蘇生学 痛みに対する東洋医学的アプローチ 6月27日

他大学でのFD：

兵庫医科大学 第一回漢方医学セミナー 漢方医学の基礎知識8月28日

社会貢献

1. 第1回和漢診療市民公開セミナー-開催

主催：群馬大学大学院医学系研究科 統合和漢診療学

後援：前橋市・（社）日本東洋医学会医学会・（財）同愛会

於：前橋市総合福祉会館

基調講演：

1. 現代医療における和漢診療の役割 小暮 敏明

2. 知って得する健康情報 高崎健康福祉大学

看護学科長/教授 坂本浩之助

特別講演：長野県民はなぜ長寿なのか？

諏訪中央病院東洋医学センター センター長 長坂和彦

総説

1) 日本東洋医学会関東甲信越支部群馬県部会事務局. 第16回（2007年度）日本東洋医学会群馬県部会学術講演会演題抄録. 北関東医学 2008;58:257-260

- 2) 小暮敏明. 漢方薬 慢性疼痛診療ガイド. 治療: 2008; 90: 2097-2101
- 3) 小暮敏明. 痛みと漢方 骨・関節疾患 漢方と最新治療. 2008; 17: 273-278

原著

- 1) Kogure T, Tatsumi T, Kaneko Y, Okamoto K. Rheumatoid arthritis accompanied by Parkinson disease. *J Clin Rheumatol*. 2008; 14:192-3.
- 2) Kogure T, Ito K, Sato H, Ito T, Oku Y, Horiguchi J, Takeyoshi I, Tatsumi T. Efficacy of Nyoshinsan/TJ-67, a traditional herbal medicine, for menopausal symptoms following surgery and adjuvant chemotherapy for premenopausal breast cancer. *Int J Clin Oncol*. 2008; 13: 185-9.
- 3) Tatsumi T, Kogure T. The possibility of serial Determination of PAC/PRA for a Useful Marker of Pseudoaldosteronism. *J. Trad. Med*. 2008; 25: 119-121.
- 4) Tanaka T, Sato H, Doi H, Yoshida CA, Shimizu T, Matsui H, Yamazaki M, Akiyama H, Kawai-Kowase K, Iso T, Komori T, Arai M, Kurabayashi M. Runx-2 represses Myocardin-mediated differentiation and facilitates osteoblastic conversion of vascular smooth muscle cells. *Mol Cell Biol*. 2008; 28:1147-60.
- 5) 川田悦夫、大山良雄、奥裕子、佐藤浩子、巽武司、小暮敏明、田村遵一、坂本浩之助. 紹介状無しで大学病院を受診する患者の希望と現状. *北関東医学会雑誌*. 2008; 58:281-286
- 6) 奥裕子、佐藤浩子、星野綾美、田村遵一. 群馬大学医学部附属病院における女性専用外来の現状. 2008; 58 :297-301.

症例報告

- 1) Kogure T, Sato H, Kishi D, Tatsumi T. The effect of traditional herbal medicines; Uyakujunkisan on trigeminal neuralgia in an elderly patient--a case report and literature review. *Pain Pract*. 2008; 8:408-11.
- 2) 関矢信康、檜山幸孝、並木隆雄、笠原裕司、地野充時、林克美、小暮敏明、巽武司、柴原直利、喜多敏明、平崎能郎、寺澤捷年. 防己黄耆湯の使用目標に関する一考察. *日本東洋医学会雑誌*. 59 : 623-631. 2008
- 3) 星野綾美、巽武司、佐藤浩子、奥裕子、伊藤克彦、田村遵一、小暮敏明: 越婢加朮湯が奏

功した乾性咳嗽を伴う漿液性膝関節炎の一例. *日本東洋医学会雑誌*59: 733-736 2008

学会発表

- 1) 小暮敏明: 「痛み」の漢方医学的な病態把握とその対応. 第37回日本慢性疼痛学会イブニングセミナー、2月 宇都宮
- 2) 小暮敏明: 中間報告・FDについて. 第4回日本東洋医学会漢方医学教育のためのワークショップ、1月 東京
- 3) 奥裕子、佐藤浩子、巽武司、小暮敏明、田村遵一: 群馬大学医学部附属病院における女性専用外来の現状. 第105回日本内科学会講演会 4月 東京
- 4) 佐藤浩子、奥裕子、巽武司、小暮敏明、田村遵一: 和漢診療の慢性頭痛に対する有用性. 第105回日本内科学会講演会 4月 東京
- 5) 小暮敏明: リウマチ性疾患への対応 最近の話題. 平成20年度日本東洋医学会専門医制度委員会主催 学術講演会 教育講演 4月 東京
- 6) 中野綾、池田美恵、前田恵里、濱田えり子、巽武司、小暮敏明: 要望演題「医療機関との連携について」医師と連携した薬情作成の取り組み. 第4回群馬県薬剤師会学術大会 6月 前橋
- 7) 巽武司、岸大次郎、佐藤浩子、奥裕子、笠原裕司、関矢信康、寺澤捷年、田村遵一、小暮敏明: 温経湯と当帰芍薬散の併用が奏功した皮膚疾患の2例. 第59回日本東洋医学会学術総会 6月 仙台
- 8) 重田哲也、巽武司、地野充時、小暮敏明: 外傷性頸部症候群に対しての大柴胡湯が有効であった症例. 第59回日本東洋医学会学術総会 6月 仙台
- 9) 笠原裕司、地野充時、関矢信康、並木隆雄、大野賢二、林克美、来村昌紀、橋本すみれ、小川恵子、寺澤捷年、喜多敏明、小暮敏明、巽武司: 奔豚と思われた諸症状に呉茱萸湯エキス・苓桂朮甘湯エキスの併用が奏功した3例. 第59回日本東洋医学会学術総会 6月 仙台
- 10) 奥裕子、小暮敏明、佐藤浩子、巽武司、田村遵一: 西洋医学的治療によりコントロール困難であった関節リウマチに対し和漢薬治療が著効した1症例. 第59回日本東洋医学会学術総会 6月 仙台
- 11) 佐藤浩子、巽武司、奥裕子、田村遵一、小暮敏明: ベーチェット病疑い例の再発性難治性口腔内アフタに、桂枝五物湯加石膏が有効

であった一例． 第59回日本東洋医学会学術総会 6月 仙台

- 12) 藤永 洋、高橋宏三、引網宏影、小暮敏明、嶋田豊：線維筋痛症の証の検討． 第59回日本東洋医学会学術総会 6月 仙台
- 13) 巽 武司、小暮敏明：群馬大学医学部での漢方医学教育（卒後）への取り組み． 第40回日本医学教育学会大会 7月 東京
- 14) 小暮敏明：リウマチ性疾患に対する漢方治療． 2008年度日本東洋医学会関東甲信越支部長野県部会 特別講演 11月 長野
- 15) 佐藤浩子、巽武司、岸奈治郎、田村遵一、小暮敏明． 疎経活血湯エキスが奏功した胸鎖関節症、肋間神経痛の一症例． 日本東洋医学会関東甲信越支部2008年度群馬県部会 11月 高崎
- 16) 岸 奈治郎、巽 武司、佐藤浩子、田村遵一、小暮敏明：味覚異常に対し黄耆建中湯が著効した一例． 日本東洋医学会関東甲信越支部2008年度群馬県部会 11月、高崎．
- 17) 巽武司、金子尚子、小暮敏明． シェーグレン症候群として経過観察中にRAが顕性化した一症例での抗CCP抗体の推移． 第19回日本リウマチ学会関東甲信越支部学術集会 12月 高崎

その他

- 1) 小暮敏明：変わるものと変わらぬもの：特集 漢方医学と西洋医学の融合に向けて 漢方医学 32(1) 37 2008
- 2) 小暮敏明：第10回前橋漢方アカデミー 症例検討 3月 前橋
- 3) 佐藤浩子： 女性のための漢方～女性専門外来の経験から～ 群馬県女医会定期講演会（日本医師会生涯教育講座認定） 6月 前橋
- 4) 小暮敏明：痛みと漢方 第33回JPS漢方特別講座 7月 東京
- 5) 小暮敏明：古くて新しい漢方医学-なぜ、今漢方なのか- 第1回同愛会財団セミナー（財団・統合和漢診療学共催） 7月 前橋
- 6) 小暮敏明：第11回前橋漢方アカデミー 症例検討 8月 前橋
- 7) 小暮敏明：和漢薬の難治性疾患への臨床応用 東洋医学セミナー 日本東洋医学会主催 8月 東京
- 8) 小暮敏明：和漢診療学の臨床 第1回兵庫医科大学漢方医学セミナー（兵庫医科大学漢方医学教育・診療研究会） 8月 兵庫医科大学
- 9) 佐藤浩子：女性のための漢方～女性専用外来の経験から～ 群馬県女医会定期講演会 6月

前橋

- 10) 小暮敏明：第12回前橋漢方アカデミー 症例検討 11月 前橋
- 11) 巽 武司、佐藤浩子、小暮敏明：乳癌術後ホルモン療法によって更年期症状を呈した閉経前の乳癌患者に対する女神散の効果． 第4回群馬和漢診療フォーラム、9月、前橋．
- 12) 小暮敏明：上気道炎を診る－漢方医学的な見方 沼田利根医師会学術講演会 11月 沼田
- 13) 小暮敏明：関節リウマチの治療戦略 和漢薬の臨床応用 武田薬品工業（株）勉強会 12月 前橋
- 14) 小暮敏明： 和漢診療科診療に携わって思うこと（1） 薬事日報連載 8月25日
- 15) 小暮敏明： 和漢診療科診療に携わって思うこと（2） 薬事日報連載 9月22日
- 16) 小暮敏明： 和漢診療科診療に携わって思うこと（3） 薬事日報連載 10月31日
- 17) 小暮敏明： 和漢診療科診療に携わって思うこと（4） 薬事日報連載 11月14日
- 18) 小暮敏明： 和漢診療科診療に携わって思うこと（5） 薬事日報連載 12月19日
- 19) 巽 武司：疼痛疾患に対する漢方治療・女性に対する漢方治療． いせさき佐波漢方医学講座 1月 伊勢崎．
- 20) 巽 武司：高崎漢方症例研究会 2月 高崎．
- 21) 巽 武司：消化器症状と漢方． 第20回南部漢方学術講演会 5月 弘前．
- 22) 巽 武司：高崎漢方症例研究会、6月、高崎．
- 23) 巽 武司：補剤について． いせさき佐波漢方医学講座 9月 伊勢崎．
- 24) 巽 武司：女性疾患の漢方治療． 第179回東毛漢方研究会 10月 太田．
- 25) 巽 武司：かぜと漢方． 第180回東毛漢方研究会 11月 太田．